

各 位

2016年2月18日
株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 片岡 尚
(コード番号 4343)

2016年2月期 1年度の営業概況

1. 業績の進捗

1月度(2016年1月1日～2016年1月31日)の国内単体の営業収益は55億68百万円、前期比135.7%となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

2. 月次売上高の前期比伸び率の状況(国内事業) (単位: %)

	1月度		当期累計(3月度～1月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	141.6	108.9	126.4	101.7
商品売上	113.7	95.0	100.0	87.4
遊戯施設売上計	135.8	106.0	120.2	98.3
売上高合計	135.7	105.8	120.1	98.0

※既存店伸び率は前期に対し正月休み金曜日・平日火曜日が各1日減少し、冬休み火曜日・日曜日が各1日増加しておりますが、その影響は0.9%増となり、1月度の既存店売上の趨勢は104.9%となります。また、既存店伸び率に旧ファンフィールドの店舗は反映されておりません。

3. 営業の概況

1月度の売上高前期比伸び率は、遊戯機械売上141.6%、商品売上113.7%となり、既存店伸び率は105.8%となりました。下半期最大商戦である1月度も好調に推移しております。また遊戯機械売上の既存店伸び率は108.9%となり、5ヶ月連続で既存店伸び率は100%を超えました。部門別では、プライズ部門は依然大型景品と正月商戦好調の押し上げもあり、既存店伸び率は107.7%。また体感部門は12月に実施いたしました遊戯機械の改廃効果もあり、既存店伸び率は111.0%と好調に推移しております。メダル部門の既存店伸び率は102.9%と堅調に推移しております。

※上記文面で記載の部門別既存店伸び率は、旧ファンフィールド店舗の数値を概算値として反映しております。

4. 国内出退店の状況

今期(2015年3月1日～2016年1月31日)は16店舗を新たに開店し、7店舗を閉店しております。

※2016年1月末の国内直営店舗数: 503店舗

【参考情報: 海外子会社の既存店売上伸び率の状況】 (単位: %)

	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度
中国	99.4	111.7	109.8	88.8	88.1	86.9
マレーシア	107.2	83.9	87.2	83.1	86.4	99.0
タイ	101.4	93.6	99.7	88.3	103.8	93.1
	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度
中国	82.0	84.6	165.2	189.6	119.0	—
マレーシア	97.8	86.1	96.5	90.4	111.7	—
タイ	92.1	94.1	86.7	87.8	91.2	—
フィリピン	—	—	—	116.3	104.9	—

注: 中国は2015年11月度より、マレーシアは2016年1月度よりプリペイドカードの有効期限(1年)切れによる退職金を売上に計上しております。

(IR情報を含め当社の各種情報は、当社ホームページで随時お知らせしております。<http://www.fantasy.co.jp>)

問い合わせ先 広報・IR室 井関 義徳 (電話 043-212-6188)

以上